

2017年度 ハララキ体験活動【土器作り】について

2017・8・31

研修係

1 活動名 「土器作りをしよう」

2 ねらい

1997年から、今年度まで、ハララキ活動では、二風谷の文化や自然について、調べたり、実際に作ったりみたりという体験を通して、地域を知り先人たちの営みを感じてきた。今年度のハララキ体験では、「土器」について知り、簡単な作品を作ってみる学習活動を仕組みたい。

歴史館の見学、土器作りや実際に使ってみる活動を通して、昔の人たちが土器を作り、自分たちの生活に生かしてきたことを実感させたい。また、一人ひとりがオリジナルの土器を作り、土器を使って実際に食事をするなどの活動を通して、土器作りの楽しさを味わうとともに、アイヌ文化に親しませたい。

作品作りでは、低学年は「皿」のようなものをつくり縄文の模様をつけることを中心に、中・高学年は「立体」の作品を「上積み」で作りあげることを中心に組み立てる。

3 活動内容（全10時間）

（1）オリエンテーション・・・1時間

- ・歴史館の縄文土器を見学し、縄文土器について興味を持つとともに、もっと知りたいことなどをまとめる

（2）土器について知る・・・1時間

- ・土器についての知識を深め、どんな土器を作るかイメージを持つ

（3）土器作り・・・・・・2時間

- ・学校で土器作りを行う

（4）野焼き・・・・・・3時間

- ・学校で野焼きを行う

（5）自分の土器を使用しての調理・・2時間

- ・各学級において、自分の土器を使って調理する（11月30日までに実施）

（6）ハララキ体験学習のまとめと反省、お礼の手紙・・1時間

- ・全体で作品を鑑賞し、ハララキ体験活動を振り返る。また講師へお礼の気持ちを考える。

4 活動時間

（1）第1回目 10月20日（金） 3校時

（2）第2回目 10月27日（金） 3校時

（3）第3回目 11月 7日（火） 3・4校時

（4）第4回目 11月21日（火） 3～5校時 予備日22日（水）

（5）第5回目 11月下旬（各学級で行う）

（6）第6回目 12月 1日（金） 5校時

5 活動計画

(1) 第1回活動

日 時：10月20日（金）3校時

活動内容：オリエンテーション『縄文土器について知ろう』

ね ら い：歴史館の縄文土器を見学し、縄文土器について興味を持つとともに、もっと知りたいことなどをまとめる

活動形態：全校

活動場所：沙流川歴史館

準 備 物：各学級で筆記用具・メモをとれるような準備をする

講 師：博物館職員

進 行：研修係

記 録：デジカメ・・・TT教諭

活動内容	教師の活動	児童の活動	備考
オリエンテーション 5分	○挨拶をする ○テーマの提示をする 今年度のハララキ体験活動が縄文土器であることを知らせる。 ＊低・皿 高・立体を伝える ○ 講師の紹介	○はじめの挨拶をする ○これからハララキ体験活動で何をするか知る ○ 講師の先生へ挨拶をする	児童会書記 児童会会長
10分	○今日の活動のねらいを知らせる。		
30分	縄文土器を見て、縄文土器についての関心を持つとともに、もっと知りたいことをまとめよう		
まとめ	○縄文土器についての説明をしていた だく。 ○土器について、不思議だな、もっと知りたいなと思うことをまとめさせる ○次時の予告 日時：10月27日（金）3校時 内容：土器についてもっと詳しく知ろう 作りたい土器の形状を考えよう ○活動の反省をさせる ○挨拶	○土器を見て、高学年は年代によって土器の形状や模様などが違うことを知る。低学年は模様に視点を置く ○土器を見ての感想、もっと知りたいことなどをまとめる。 ○振り返りカードに記入する ＊発表をする ○講師の先生にお礼の挨拶をする ○終わりの挨拶	 児童会副会長 児童会書記

(2) 第2回活動

日 時：10月27日（金）3校時

活動内容：土器についてもっと詳しく知ろう

自分の作る土器の形や模様を考えよう

ね ら い：土器についての知識を深め、どんな土器を作るかイメージを持つ

活動形態：全校

活動場所：ホール

準 備 物：子どもたちの質問のまとめ

講 師：博物館職員

進 行：研修係

記 録：デジカメ・・・TT教諭 ビデオ（ある程度固定）・・・養護先生

<活動計画案>

活動内容	教師の活動	児童の活動	備考
導入 5分	○挨拶をする ○前時の想起をさせる ○今日の活動のねらいを知る	○はじめの挨拶をする ○前時のことを思い出す ○今日の活動を知る	児童会書記
	土器についてもっと詳しく知ろう 自分の作りたい土器の形や模様を考えよう		
活動 30分	○講師の先生に挨拶 ○講師の方に、子どもたちから出た質問に答えていただき、土器についての知識を深めさせる ○作ってみたい土器の形や模様を考えさせる	○挨拶をする ○質問を順番に行う ○簡単なスケッチを行う	児童会会長
まとめ 10分	○活動の反省をさせる ○次時の予告 日時：11月 7日（火）3・4校時 内容：土器作りをする ○挨拶	○ふりかえりカードに記入する ＊発表する ○講師の先生にお礼の挨拶をする ○終わりの挨拶をする	児童会副会長 児童会書記

(3) 第3回活動

日 時：11月 7日（火）3・4時間目

活動内容：土器作りをしよう

ね ら い：模様づけや形作りを考えながら活動させる

活動形態：全校

活動場所：ホール

準 備 物：土器用粘土（1人1kg）、粘土ヘラ、粘土板、粘土板の上用ティッシュ、作品を乾燥させる棚

講 師：博物館職員

進 行：研修係

記 録：デジカメ・・・ＴＴ教諭 ビデオ・・・養護教諭

＊粘土は事前に約 1kg 分に教師側
で分け、ビニールに入れておく。

メモ：“野幌レンガ”という縄文土器づくり
専用の粘土を販売している会社がある。

<活動計画案>

活動内容	教師の活動	児童の活動	備考
導入 5分	○挨拶をする ○前回の活動を想起させる ○今日の活動内容について知らせる	○挨拶をする ○前回の活動を思い出す ○今日の活動を知る	児童会書記
土器作りをしよう			
活動 75分	○講師の先生に挨拶 ○土器の作り方について説明していただく	○挨拶する ○説明を聞いて、自分の考えた土器を作る ○作った作品をテラスの棚に置く	児童会副会長
＊作品はしっかりと乾燥させなければいけないので、教室・理科室、図工室など、窓際の風通しの良いところに置こうと考えている。			
まとめ 10分	○後片付けをさせる ○活動の反省をさせる ○次時の予告 日時：11月21日（火） 3～5校時 内容：土器を焼く ○挨拶	○後片付けをする ○ふりかえりカードに記入する ＊発表する ○講師の先生にお礼の挨拶をする ○おわりの挨拶をする	児童会会長 児童会書記

（４）第４回活動

日 時：11月21日（火） 3～5時間目

活動内容：土器を焼こう

ね ら い：土器作りを体験させる

活動形態：全校（学級）

活動場所：グラウンド

*朝（1・2時間目）の間に、薪を使用してグラウンドの土の水分を飛ばしておく。（手の空いている職員）

*当日の教職員（空焚き時）の対応の確認。

準 備 物：薪（軽トラック1台分）、火をつける道具類、水を沸かす時に使う網、

講 師：博物館職員

進 行：研修係

記 録：デジカメ・・・ＴＴ教諭 ビデオ・・・養護教諭

<活動計画案>

活動内容	教師・講師の活動	児童の活動	備考
導入 5分	○挨拶をする ○前回の活動の内容を想起させる ○今日の活動内容を知らせる	○挨拶をする ○前回の活動を思い出す	児童会書記
活動 120分 （焼いている間は、児童は別作業を行う）	土器を焼こう		
	○講師の方に挨拶をする	○講師の方に挨拶をする	児童会副会長
	○土器の焼き方について説明していただく	○指示に従って焼く	
	*焼いている間の活動 ・灰汁を出すための雑草を取る ・各学級ごとに、土器を作った後に何を作るか、話し合いを行う。 形状もマチマチなので、特に中・高学年は、学級で統一したものを作るのか、 個々人で作るものを決めるのか、学級にお任せする。		
*3・4時間目	○焼けた土器を取り出させ、洗わせる	○土器を取り出し洗う	雑草を入れて沸かすことで、灰汁により目詰まりを起こさせる
*5時間目	○実際に土器を使ってお湯を沸かさせる	○土器に水を入れて沸かす	
まとめ 10分	○土器の補強をさせる		
	○活動の反省をさせる	○ふりかえりカードに記入する	
	○次時の予告をする	*発表する	
	日時：学級に任せる 内容：土器を使って料理しよう	○次回の内容を知る	
	○挨拶	○講師の先生にお礼の挨拶をする	児童会会長
		○終わりの挨拶をする	児童会書記

(4) 第4回活動

日 時：11月21日(火) 朝休み 8:10～ 20分休み(10:00～)
5時間目 13:10～

活動内容：土器を焼こう

ね ら い：土器作りを体験させる

活動形態：全校(学級)

活動場所：グラウンド

*朝(1・2時間目)の間に、薪を使用してグラウンドの土の水分を飛ばしておく。(手の空いている職員)
*当日の教職員(空焚き時)の対応の確認。

準備物：薪(軽トラック1台分)、火をつける道具類、水を沸かす時に使う網、

講師：博物館職員

進行：研修係

記録：デジカメ・・・TT教諭 ビデオ・・・養護教諭

<活動計画案>

活動内容	教師・講師の活動	児童の活動	備考
朝休み	○薪の回りに、作品をならべる ○空だき 畳2畳縦に並べた位の広さ 講師 教頭による火の管理		児童会書記
20分休み 導入 5分	○挨拶をする ○前回の活動の内容を想起させる ○今日の活動内容を知らせる	○挨拶をする ○前回の活動を思い出す	児童会副会長
	土器を焼こう		
5時間目 活動	○講師の方に挨拶をする ○土器の焼き方について説明していただく ○焼けた土器の処理の仕方について説明していただく ○土器を取り出す ○焼けた土器を取り出させ、洗わせる ○実際に土器を使ってお湯を沸かさせる ○土器の補強をさせる	○講師の方に挨拶をする ○作品を火に入れるところを見学する。 ○土器を取り出し洗う ○土器に水を入れて沸かす	
まとめ 10分	○活動の反省をさせる ○次時の予告をする 日時：学級に任せる 内容：土器を使って料理しよう ○挨拶	○ふりかえりカードに記入する *発表する ○次回の内容を知る ○講師の先生にお礼の挨拶をする ○終わりの挨拶をする	児童会会長 児童会書記

(5) 第5回活動

日 時：11月下旬

活動内容：自分の土器を使って調理する

ね ら い：土器を使って調理し、食べてみて、生活の中に役立てていたことを体験する

活動形態：学級ごと

活動場所：学級に一任

進 行：学級担任

記 録：デジカメ・・・学級担任他

<活動計画案>

活動内容	教師・講師の活動	児童の活動	備考
導入 5分	○挨拶をする ○今日の活動の内容を確認する	○挨拶をする ○活動の内容を知る	
	土器を使って、料理を食べてみよう		
活動 65分	○何を作るか計画の確認をする ○できたら試食させる	○計画に沿って作ってみる ○食べる	
まとめ 20分	○後片付けをさせる ○活動の反省をさせる	○後片付けをする ○振り返りカードに書く	

（６）第6回活動

日 時：12月 1日（金） 5校時

活動内容：講師の方への感謝の気持ちを考え伝えさせる。

ね ら い：講師の方への感謝の気持ちを考えさせる

活動形態：全校

活動場所：ホール

準 備 物：筆記用具、お礼用の手紙

進 行：研修係

記 録：デジカメ・・・ＴＴ教諭

<活動計画案>

活動内容	教師・講師の活動	児童の活動	備考
導入 5分	○挨拶をする ○前時の活動を想起させる ○今日の活動の内容を確認する	○挨拶をする ○前時の活動を思い出す ○活動の内容を知る	児童会書記
講師の先生へのお礼の手紙を書こう ハララキ体験活動の感想を書こう			
活動 20分	○作った土器を鑑賞させる ○講師の先生へのお礼の手紙を書かせる	○友だちや他の人の作った土器を鑑賞しあう ○お礼の手紙を書く	
まとめ 20分	○土器作りの活動全体を通しての感想（反省）を書かせる ○挨拶をする	○感想を書く ○各学級1名発表しあう ○挨拶をする	児童会会長

メモ：本来11月というのは、この活動をするにあたっては厳しい時期である。次回同じような活動を行う場合は、乾燥しやすい季節・時期（9月ごろ）が適切である。

また、風通しの良い場所などを考えなければいけない。雨が当たらない場所で、日当たりが良すぎるのもよくない（割れてしまう）。